

会 議 録

| | | | |
|--------------------|---|--------------|----|
| 会議名 (審議会等名) | 相模原市駐車場ビジョン検討委員会 (相模原市駐車場整備事業経営戦略策定部会) | | |
| 事務局 (担当課) | 路政課 電話042-769-8258 (直通) | | |
| 開催日時 | 令和5年1月24日(火) 10時～11時40分 | | |
| 開催場所 | 橋本公民館 中会議室 | | |
| 出席者 | 委員 | 6人(別紙のとおり) | |
| | 事務局 | 6人(路政課長、外5人) | |
| 公開の可否 | <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 議 題 | (1) 部会長選出 (2) 経営戦略の概要について (3) その他 | | |

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

(1) 部会長の選出について

委員の互選により安岡委員を部会長として選出した。

(2) 経営戦略の概要について

駐車場ビジョンの経営部分について事務局より説明を行った後、質疑応答や意見交換を行った。

(安岡部会長) 総務省から出ている様式に記載されている項目を網羅していればどんな形態でも構わないということによろしいか。また総務省に提出する必要はないのか。

(事務局) その通りである。様式をそのまま利用している自治体もあれば、計画の中に組み込む自治体もある、また、提出する必要は無いが、市のホームページでの公表が求められている。

(兵藤委員) 経営比較分析表の「③駐車台数一台あたりの他会計の補助金額」について、相模大野立体駐車場で令和2年度に上がっているが、何か制度上の変更があったのか。

(事務局) 相模大野立体駐車場は償還が終了しているため、駐車料金収入で運営費を賄っていたが、令和2年度に自動火災報知設備の更新工事を行い、一般会計からの繰り入れを行ったため上がったものである。

(兵藤委員) 「類似施設平均値」という赤線があるが、これも令和2年度にそれまでほぼ0円だったのが跳ね上がっているがなぜか。

(事務局) コロナ禍により全国的に駐車場の利用状況が悪くなり、他会計からの補助金が必要になったものと思われる。平均値は修正される可能性もあるため、令和3年度版でもう一度確認させていただきたい。

(安岡部会長) 資料4は、これからの推計をしているわけではなく、今までの結果をご報告いただいているということによろしいか。

(事務局) その通りである。

(兵藤委員) 事務局からの説明の中で「他の駐車場からの収支のやり取りがあった」という言葉があったが、それは赤字補填を6つの駐車場の中で行っているということか。

(事務局) その通りである。会計としては6つの駐車場の収支をまとめている。決算統計を行うために、便宜上、それぞれの駐車場毎の収入支出でわけており、例えば、管理運営費よりも利用料金収入の方が多い駐車場の、黒字の部分、赤字の駐車場の管理運営費等に充てるなど、駐車場事業会計の中でやりくりを

している。それでも不足する部分は一般会計から繰り入れている。

(兵藤委員) 6つの駐車場の個別の経営戦略はもちろん大切だが、資金については特に、全体を合わせたこれからの見通しのような大枠を示す方が良いと思う。合計値はどこかに出ているか。

(事務局) 今回の資料では出ていないので、提示するようにする。

(渡邊委員) 総務省が示す経営比較分析表は、あくまでも各駐車場のものか。合計した経営比較分析表は作成できないか。

(事務局) 合計値として分析表を手動で作ることはできると思う。ただし、類似施設区分が小田急相模原駅自動車駐車場のみ構造が「地下式」、そのほかの5施設は「立体式」で類似施設平均値は異なる。そこも考慮してまとめることは可能だと思う。

(兵藤委員) 全体の判断材料として「相模原市として駐車場に対してどのぐらいのお金を準備しないとイケないのか」という見通しも必要であると思う。

(安岡部会長) 資料4の最後に全部まとめたものを入れると、比較して見れると思う。これから先、「どこに投資するか」について、「プロダクトポートフォリオマネジメント」という、「“金の成る木” =あまり投資せずに入ってくるころのお金を、これからなんとかしたいところに投資をしていく」という考え方がある。必ずしも赤字だから悪いという訳ではなく、これから何かしら良いことをしていこうとするための資金をそちらから回していくということができると思うので、そのように破碎していただければと思う。

(安岡部会長) 確認だが「資本的収入」は一般会計からの繰入金と考えて良いか。

(事務局) 駐車場を建設するための資金に充てる収入で、例えば国からの補助金や助成金があればそれも該当する。ただ、現在は市内に駐車場を作るのに補助金等が出てるわけではないため、建設費の元金の償還のために一般会計から繰り入れた金額が資本的収入となっている。

(安岡部会長) ある意味「収入」というよりは「補助」のような感じということか。あまり多くなっても仕方がないということで理解した。「資本的支出」は「借金を返す」という支出でよいか。

(事務局) その通りである。現在、ほぼ建設当時の借金であるが、今後エレベーターの更新などの設備改修工事に充てる支出も資本的資質として計上することになると思う。

(古橋委員) 指定管理者制度を採用しているとあるが、指定管理者制度を採用しなかった場合に人件費などはいくらかかるのか。指定管理者制度を活用する方が安いとは思っているが、指定管理者制度をやめるといった議論はあるのか。

(事務局) 仮に、市が直営でやった場合、市の職員ひとりあたりの人件費を、現在駐車場の管理運営に必要な人数で掛け合わせて試算すること自体は可能だと

思う。

(古橋委員) 「指定管理者制度と市の直営ではどちらが黒字又は赤字である」とか、「経営戦略としてどちらが良いのか」等、「市として、こういう戦略を立てて黒字にさせる」といったことを議論しないで良いのだろうか。

指定管理者も大手企業等が入っているが、地元育成を考えるとといった方向性についても、ここで議論する論点となるかどうかということを知りたい。指定管理制度でこのまま継続するのであれば、戦略としては指定管理者任せになるかと思うので、議論して良いのか分かりにくい。

(事務局) 管理運営方法としては、市が直営で管理する場合、指定管理者制度を導入する場合、貸付ということで市営駐車場という位置づけを無くして、市がオーナーのような状態で駐車場として使っていただく場合が考えられる。現在の制度をすぐに変更するのは難しいが、どういった管理運営方法が望ましいかは、まさしく議論いただきたい内容である。

(古橋委員) その3パターンの収益が出てこないと言えない。他の管理運営方法にする余地があるのかなのか。ないならば、指定管理者制度が良いとは思っているが、「市の方向性として指定管理者制度を採用している」ということであれば、その理由を記載しておいた方が良いと思う。

(渡邊委員) 今回の対象となる駐車場ではないが、JR中央本線藤野駅付近に小さいながらも市営の自動車駐車場があり、市の直営としていたが、現在「貸付」という形で、タイムズさんに土地をお貸しして、地代を相模原市が貰っている。駐車場として運営していただいております、直営の時は多くの職員が携わっていたが、今は一年に数回、貸付料をいただく事務等を行うだけで済んでいる。今回対象とする6駐車場についても、今後は貸付についての議論が必要と思っている。

(古橋委員) 私は相模原市以外の他市とも関わっているが、財政支出を圧縮するようになって、経費削減のため、民間で安くやっているからとさらに予算を削減すると指定管理等を受ける業者がいないと担当者レベルの話では聞いている。

また、たとえばタイムズが駐車場を運営して利益がでるのであれば、そのノウハウで市が運営すればもっと利益を出せるのではないかと、といった話もある。

市の直営では人件費が高いと思っているので、直営でかかる経費と指定管理者制度を採用してかかる経費の比較はあったほうが良いような気がする。

(安岡部会長) 私はフラットに議論した方が良いと思っている。今、藤野駅で行っている貸付制度など、餅は餅屋で、もっと稼いでくれるような形にして、その分は賃料が上がる。そういう経営ノウハウがある所が運営しお金を貰ってもらい、市としてもその分を貰うというような形が良いと思う。どの業者が運営するのが良いのかはまた別の問題だが、市としては良い業者を見抜くノウハウが必要になってくると思う。逆にそうしたことは得意だが、経営ノウハウを市に求める

のは難しいと思っている。

(古橋委員) 私もそう思う。だから尚更、市だとこれだけかかるが、指定管理者制度を導入してこれだけ減っているというのを提示して欲しい。無駄な人員を割くことがもったいないと思っているが、外部委託することでどれくらい減っているのか、ということがわからないと、議論しにくい気がする。

駐車場単体での収益を見ることよりも、駐車場運営で市の人員がどれくらいかかっていたのか、今まで10人だったのが、外部委託しているので5人で済んでいるならば、赤字でも市全体ではやむをえないと言えらると思う。市の直営はこういう理由で行わないといったことを前段として示す必要があると思う。

(安岡部会長) おっしゃるとおり、想定でも数字がないと議論にならないと思う。今日はほとんど事実を述べているだけなので、これからその推定が正しいのか、それによって戦略をどうするかという話をしていくと考える。

(渡邊委員) 先日検討委員会で議論していただいた基本計画のパブコメをこれから行う。その中に「貸付」というキーワードがあるが、これを市民がどういう観点で受けるか、「貸付も良いのではないか」という意見もあれば、「市が直接管理をした方が我々の意見が通るのでその方が良い」といった意見もあるかもしれない。その意見を反映した中で議論するのだろうと考えている。

(古橋委員) 直営の選択肢が無いと考えているのであれば、「直営が良いのではないか」という意見が出ても「では比較してみよう」より、「直営は厳しいので貸付もしくは指定管理の方向で考えます」とすべきではないか。

(渡邊委員) 基本計画では「貸付等による運営も視野に入れ」という案である。

(古橋委員) 指定管理者制度を大前提として考えていたが、その手前の議論がないため、意見を言っても良い部分なのか、と思った次第である。市の直営にして欲しいといった思いではなく、もっと外部委託、民間で、できれば地元を使ってほしいと思っている。

(事務局) 次回の資料では公営企業として実施する必要性について記載するので、直営の場合、指定管理の場合、貸付の場合のような形で記載しようと思う。

(古橋委員) 直営から切り替えた理由でも良い。過去の経緯で直営より完全に民間での収益が多かったから等、どのような理由でも良いが、その議論はもう終わっていて、だから民間にしているといった記載でも良いと思う。

(安岡部会長) 指定管理と貸付の形で、6駐車場をそれぞれ別々に分けることは可能か。収益が見込めるところは貸付でも良いが、どうやっても収益が見込めないという駐車場は指定管理でやるしかないという気がする。

(事務局) 分けることも可能ではあるが、現在の指定管理者制度でも利益が出ない駐車場もまとめることで受けてもらっている。どういう分け方をするかというところが議論するところだと思う。現在の指定管理は6駐車場としている

が、その前の指定管理期間では区で分けて自転車駐車場と自動車駐車場を合わせて指定管理者を募集していた。自動車駐車場、自転車駐車場で分ける方が運営しやすいというところもあり今回まとめて募集したが、さらに細分化するかどうかは各駐車場の利益によってくると思う。小田急相模原駅駐車場は一番規模が小さい割に費用がかさむため、単独で指定管理者を募集しようとする赤字になると考えられる。

(大木委員) 令和5年からの指定管理者はタイムズになるとのことだが、指定管理を受けた場合、タイムズは駅周辺に数台の駐車場をいくつも作っているが、それらを建設するのを見合わせて指定管理を受けている駐車場に誘導するといった条件を付けてくれるのか。

(事務局) その点はタイムズの戦略に関わってくるが、指定管理を受けている駐車場については収益を上げていただけるものと考えている。

(大木委員) 駅周辺に小さい駐車場が乱立すると、相模原市の6駐車場の利用を増やしていくという流れを作るのが難しいかもしれないと思うが、その辺はどうなっているのかという単純素朴な疑問である。

(渡邊委員) 選考委員会の中で「タイムズで経営している小さい駐車場があるが相模原市の6駐車場を運営するとなると、競合ということにならないのか」という質問をしたところ「用途に合わせて自分たちの方で調整をするので、それぞれの敵対関係であるというのはいない」という話であった。基本の納付金を納めるだけの売り上げがあるということなので、経営上うまくやってくれるという判断をした。

(渡邊委員) 貸付や指定管理者を募集するにあたり、駐車場の償還が完了されているかどうかというところはポイントとなるのか。

(事務局) 基本的には償還をしている場合、特別会計そのものをやめるということが非常に難しい。令和9年度までは小田急相模原、令和14年度までは相模大野西側の駐車場の償還が続いている。先ほど安岡部会長がおっしゃった、貸付と指定管理で分けられないかということについて、償還が終わっているかどうかを目安として分ける可能性はある。また、償還している最中に貸付制度を導入できないかどうかについては確認が必要である。

(兵藤委員) 来年度から指定管理者制度が始まるのか。

(事務局) 今も指定管理者制度であったが、今までは指定管理者に指定管理料をお支払いして、収入はすべて市がいただくという方式をとっていた。

来年度からは、市は指定管理者に一銭も払わず、駐車料収入を指定管理者の収入にし、そのうちの一部を市に納付してもらうという逆の形になった。

今年までは指定管理料として3億5千万円程をお支払いしていたが駐車料収入は7億円程とかなり落ち込んでいる。今回の形式により4億3千万円いた

だけるため、市にとってはプラスの方向になっている。

(兵藤委員) たとえば駐車場の料金形態と書いてあるが、それは市が決められるのか、それとも指定管理者が決めるのか。

(事務局) これまで市の条例で定めていて、指定管理者は決められなかったが、来年度からの制度変更により、条例に定める最大料金の30分ごとに150円を超えなければ、指定管理者が提案できることとなった。

(兵藤委員) この部会で料金形態を決めたとしても、指定管理者が別の料金にすると言ったら、それは嫌と言えないのだろうか。

(事務局) 市は提案いただいた料金を精査したうえで承認するが、料金形態そのものはおまかせするということになっている。最大料金以上の金額をもらうことはできないが、その範囲内で最大限効果的な料金形態を検討してもらう予定である。

(兵藤委員) 市の権限が少し狭まったけれども、その分安定した収入が得られるので、あまり心配なく将来の見通しが立てられるということと理解した。

(安岡部会長) ある意味、リスクを指定管理者が負ってくれるということになる。

(安岡部会長) 次回は69ページの経営比較分析表についての分析についてと、74ページの管理形態についてが大きな議題になると思う。本日の議論での意見を反映して資料を作成していただきたい。

(3) その他

(事務局) 基本計画・整備計画部分のパブリックコメントは令和5年3月15日から4月14日を予定している。駐車場整備計画の策定にあたり、神奈川県警察本部と交通計画協議を行う必要もあり、来年度のスケジュールを少々変更した。

また、リニア駅周辺まちづくり課で検討中のまちづくりガイドラインの策定とも予定を合わせる関係で、駐車場ビジョン策定を委員の皆様へ報告するのは令和5年10月頃を予定している。

以 上

相模原市駐車場整備事業経営戦略策定部会出欠席名簿

| | 氏 名 | 所 属 等 | 備 考 | 出欠席 |
|---|--------|-------------------------------|-----|-----|
| 1 | 兵藤 哲朗 | 東京海洋大学 海洋科学技術研究科 研究科長 | | 出席 |
| 2 | 安岡 寛道 | 明星大学 経営学部 経営学科 教授 ／中小企業診断士 | 部会長 | 出席 |
| 3 | 大木 恵 | 相模原市自治会連合会 理事 | | 出席 |
| 4 | 古橋 裕一 | 相模原商工会議所 商業部会長 | | 出席 |
| 5 | 大宮 誠 | 公募委員 | | 出席 |
| 6 | 渡邊 建太郎 | 相模原市都市建設局土木部長 | | 出席 |